

プログラムの概要

将来皮膚科専門医を目指す人にも他の専門分野に進む人にも役立つ皮膚疾患の基礎知識と診療技術を学べます。

アピールポイント

- 当科では皮膚のcommon diseaseはもちろん、皮膚悪性腫瘍、自己免疫水疱症、その他、膠原病などの難治性疾患にいたるまで、すべての皮膚疾患を診療しています。
- さまざまな皮膚疾患に対する検査法、診断法、治療法を効率的に勉強することができます。
- 最新の知見に基づく先端医療も多く取り入れていますので、サイエンスを学ぶ入り口となる症例を多数経験できます。

具体的な研修内容

入院患者を5-8名受け持ち、皮膚科の主要疾患に関する診療知識と技術を学びます。

毎週1回は外来指導医の外来診療について、皮膚科の主要疾患の外来診療を研修します。

- 身体所見の取り方、一般検査の解釈
- 皮膚生検法、パッチテスト、プリックテスト
- 疾患ごとの外用療法、内服療法（薬剤の種類、量、期間）
- 手術療法（切除術、植皮術）
- 光線療法、レーザー療法
- 褥創治療、創傷被覆剤の使用法
- 皮膚病理診断法の基礎
- 末期医療、チーム医療

希望があれば、

- 皮膚良性腫瘍の切除を指導医のもと執刀できます。
- 興味深い症例について特殊検査、文献検索後に、上級医に指導を受けながら学会発表、論文執筆などを行うことで医学の進歩に貢献できます。

